

## 市民に笑顔を届けた U-18東南アジア選抜チーム



サッカーのU-18東南アジア選抜チームと桜丘小学校の文化交流は6月20日、同小学校で開催されました。同チームはタイやインドネシアなど11カ国20人の選手で構成され、6月22日に開催されたサッカー国際親善試合「Japan Fun Cup」に出場するため、17日からJヴィレッジ（樫葉町）で合宿を行っており、その期間での訪問となりました。

選手は東日本大震災の被災地の現状に理解を深めるとともに、子どもたちとの異文化交流を目的にサッカー国際親

善試合の主催者である国際交流基金アジアセンターが企画。選手と桜丘小の6年生72人は、書道を通して日本の文化に触れることで交流を図りました。

参加した児童は、言葉が通じないながらも、身振り手振りで選手に字の意味や書き方を教え、笑い声のたえない楽しい時間を過ごしました。

また、選手らは相馬光陽パークゴルフ場を訪れ、日本発祥のスポーツであるパークゴルフを体験し、リラックスした雰囲気の中、市パークゴルフ協会の会員と触れ合いました。



## 親子で音楽を楽しむ 0さいからの コンサート

そうま音楽夢工房第64回演奏会「0さいからのコンサート」は7月13日、総合福祉センター（はまなす館）で開催され、約300人の親子らが音楽を楽しみました。

乳幼児や小学生向けのコンサートとして開催。

演奏会は、「となりのトトロ」などのアニメの曲が演奏されたほか、乗り物の音を演奏し、どんな乗り物かを当てるイントロクイズや軽快な音楽に合わせての手遊びなどが行われました。

参加した親子らは、一緒に踊り、クイズを考えながら、楽しい音楽の時間を過ごしました。



## 各種目で活躍 スポーツ大会出場報告

### 〔トランポリン〕



スポーツ大会出場報告は6月26日、市役所で行われ、相馬トランポリンクラブの選手10人が堀川利夫教育長に東北大会出場を報告しました。

選手らは、4月29日に行われた第35回福島オープントランポリン競技選手権大会で優秀な成績を収め、県の推薦を受けて東北大会に出場。

報告を受けた堀川教育長が選手たちを激励し、クラブを代表して田代広樹選手（中一中2年）が大会への抱負を述べました。

### 〔バレーボール・野球〕

スポーツ大会出場報告は7月8日、市役所で行われ、全国大会出場を決めた選手たちが立谷市長に出場を報告しました。

八幡ジュニアバレーボールクラブは県大会で優勝し、「かんぼ生命ドリームカップ」第39回全日本バレーボール大会小学生大会全国大会」に出場。

相馬学童野球クラブは東北ブロック大会で優勝し、「第41回スポーツ少年団軟式野球交流大会」に出場。

立谷市長は全国大会に挑む選手らを激励し、奨励金を手渡しました。



## 市民に笑顔を届けた U-18東南アジア選抜チーム



サッカーのU-18東南アジア選抜チームと桜丘小学校の文化交流は6月20日、同小学校で開催されました。同チームはタイやインドネシアなど11カ国20人の選手で構成され、6月22日に開催されたサッカー国際親善試合「Japan Fun Cup」に出場するため、17日からJヴィレッジ（樫葉町）で合宿を行っており、その期間での訪問となりました。

選手は東日本大震災の被災地の現状に理解を深めるとともに、子どもたちとの異文化交流を目的にサッカー国際親

善試合の主催者である国際交流基金アジアセンターが企画。選手と桜丘小の6年生72人は、書道を通して日本の文化に触れることで交流を図りました。

参加した児童は、言葉が通じないながらも、身振り手振りで選手に字の意味や書き方を教え、笑い声のたえない楽しい時間を過ごしました。

また、選手らは相馬光陽パークゴルフ場を訪れ、日本発祥のスポーツであるパークゴルフを体験し、リラックスした雰囲気の中、市パークゴルフ協会の会員と触れ合いました。



## 親子で音楽を楽しむ 0さいからの コンサート

そうま音楽夢工房第64回演奏会「0さいからのコンサート」は7月13日、総合福祉センター（はまなす館）で開催され、約300人の親子らが音楽を楽しみました。

乳幼児や小学生向けのコンサートとして開催。

演奏会は、「となりのトトロ」などのアニメの曲が演奏されたほか、乗り物の音を演奏し、どんな乗り物かを当てるイントロクイズや軽快な音楽に合わせての手遊びなどが行われました。

参加した親子らは、一緒に踊り、クイズを考えながら、楽しい音楽の時間を過ごしました。



## 各種目で活躍 スポーツ大会出場報告

### 〔トランポリン〕



スポーツ大会出場報告は6月26日、市役所で行われ、相馬トランポリンクラブの選手10人が堀川利夫教育長に東北大会出場を報告しました。

選手らは、4月29日に行われた第35回福島オープントランポリン競技選手権大会で優秀な成績を収め、県の推薦を受けて東北大会に出場。

報告を受けた堀川教育長が選手たちを激励し、クラブを代表して田代広樹選手（中一中2年）が大会への抱負を述べました。

### 〔バレーボール・野球〕

スポーツ大会出場報告は7月8日、市役所で行われ、全国大会出場を決めた選手たちが立谷市長に出場を報告しました。

八幡ジュニアバレーボールクラブは県大会で優勝し、「かんばん生命ドリームカップ」第39回全日本バレーボール大会小学生大会全国大会」に出場。

相馬学童野球クラブは東北ブロック大会で優勝し、「第41回スポーツ少年団軟式野球交流大会」に出場。

立谷市長は全国大会に挑む選手らを激励し、奨励金を手渡しました。



# 災害を知り、備える 中村二中防災教室

中村第二中学校の防災教室は6月27日、同中学校で行われ、1学年の生徒約60人が参加しました。

防災教室は、災害が起きた際に自分の身を守った上で、周囲の人を助ける力を身に付けることを目的に開催。

午前の時間は主に災害への理解を深める授業が行われ、はじめに東日本大震災の状況や市の対応などの講話を受けました。

その後のグループワークでは今後災害が起きたときに、身を守るためにすべきことを話し合うとともに、非常時でも自分の考えを短い時間で周囲に伝えなければならぬことなどを学びました。

午後の時間は、午前の授業で学んだことをそれぞれのグループで新聞としてまとめ発表を行うなど、生徒らは1日を通して防災への理解を深めました。



## 自分の言葉で力強く「少年の主張」相馬大会



「少年の主張」相馬大会は7月3日、市民会館大ホールで開かれ、市内4中学校の各学年の代表生徒12人が自らの意見を発表しました。

中学生が日常生活で感じていることや考えていること、さまざまな経験を通して感銘を受けたことなどを自分自身の言葉でまとめて発表することで、多くの大人に中学生への理解や関心を深めてもらうことをねらいとし、今年で41回目。

将来の夢や日常のマナー、部活動などをテーマに、発表者は力強く意見を述べました。

最優秀賞の齋藤康洋さん（向陽中3年）、優秀賞の佐藤菜々香さん（中一中2年）、今野未空さん（中二中3年）の3人は、9月27日に本宮市で開催される県大会出場候補者として推薦されました。

## 地域で世代間交流

西部こども公民館  
3B体操



地域の高齢者と子どもたちの交流を図る3B体操は6月24日、西部子ども公民館で開催され、約40人が参加しました。

日ごろから各地区公民館で3B体操の講師として活動している門馬元子さんと新妻美紀子さんが講師として参加し、地域の高齢者や子どもたちに踊り方を教えながら3B体操が行われました。

参加者は、3B体操特有の道具を使いながら音楽に合わせて楽しく体を動かし、世代を越えて交流を深めました。

東部子ども公民館  
フェスティバル初夏

東部子ども公民館フェスティバル初夏は6月22日、当子ども公民館で開催され、地域の子どもたちや親子連れでにぎわいました。

イベントは、地域の子どもたちの触れ合いや高齢者との世代間交流を目的に、1年を通して数回行われています。

会場は、人気アニメを題材とした催し物や、将棋やオセロなどの昔遊びが行われ、子どもたちは笑顔を見せながら楽しく催し物に参加し、また、昔遊びを通じた世代間交流を体験しました。



## 水難事故に備えて

### ライフセーバー講習会

桜丘小学校のライフセーバー講習会は7月8日、市民プールで開催され、全校児童が参加しました。

講習会は、万一の水難事故発生時に、慌てず周りの人と協力しながら対応できることを目的に体験学習として実施され、今年で8回目。

講師は、東日本大震災以降、被災地の復興支援に取り組んでいる「チームSOS」の代表豊田勝義氏ら10人のライフセーバーです。

当日は、1・2年生、3・4年生、5・6年生のそれぞれ



れ合同の授業として開催され、学年に応じた講習が行われました。

はじめに参加した1・2年生は、プールサイドで準備運動を行うと、ライフセーバーによる水難事故における救助方法の実演などを見学し、プールの中では、水への恐怖心を無くし慣れることを目的に、楽しく水をかけ合い、救助用の道具を使ってライフセーバーらと触れ合いました。参加した児童は、楽しみながら万一の水難事故への対応を学びました。

## ゴールを狙い熱戦 バスケットボール ミニゲーム大会

第5回相馬バスケットボールミニゲーム（オールコート3人制）大会は7月6日、スポーツアリーナそうまで開かれ、選手たちは勝利を目指し熱戦を繰り広げました。

市教育委員会の主催。

大会は小学校低学年からシニアまでの男女で行われ、29チームが参加し、それぞれの部門で優勝を目指しました。

試合では、お互いのゴールを狙い目まぐるしく攻防が入れ替わり、選手たちはパスを回し鮮やかなゴールを決めていました。



## 相馬野馬追継承へ寄付

### アルプスアルパイン株式会社

アルプスアルパイン株式会社の米谷信彦副社長執行役員兼アルパインカンパニー長代表取締役は6月24日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。

同社は、50年間継続して相馬野馬追に参加し、今年も寄付という形で相馬野馬追を支援。

寄付金を受け取った立谷市長は感謝の言葉を述べました。



## 子どもたちのスポーツ活動を支援 相馬ライオンズクラブ

ライオンズクラブ国際協会の針ヶ谷克之さんと相馬ライオンズクラブの横田正寛会長は6月25日、市役所を訪れ、堀川利夫教育長へ寄付金を手渡しました。

寄付金は、ライオンズクラブ国際協会がチャリティゴルフ大会を開催し、その際に集まった浄財。

受け取った堀川教育長は、感謝の気持ちを述べました。寄付金は、本市のスポーツ活動の支援に活用します。

## 夢を持ってチャレンジ スポーツ笑顔の教室



スポーツ笑顔の教室は6月18日、日立木小学校の5年生16人を対象に開催されました。訪れた夢先生は、Fリーグで活躍した元フットサル選手の富金原徹先生。参加した児童らは、体育館で夢先生と一緒に体を動かす「ゲームの時間」でチームとして成功するにはどうしたら良いかなどを相談し協力しながら、少し変わったたるまさんがころんだなどで体を動か

しました。教室で夢先生の体験談をもとに夢を持つことの素晴らしさを伝える「夢トークの時間」では、夢先生が子どものころにJリーグに憧れてプロのサッカー選手を夢見ながら練習してきたことや、どんなに練習しても結果が出ないときは少しでも成長している自分を信じてチャレンジする気持ちを大切にできたことなどを児童らに伝えました。

## 相馬の魅力をPR 「相馬ブランド」認定証交付式

「相馬ブランド」認定制度の認定証交付式は6月26日、千客万来館で開かれ、船橋屋製菓株式会社と有限会社中村松川堂が認定を受けました。

同制度は、市内の優れた素材や技術を活かし、土産などに適した魅力ある加工食品を審査の上、「相馬ブランド」として認証する制度。

今回認証を受けた商品は、船橋屋製菓と中村松川堂の菓子5点。

認定商品は、市や市観光協会、商工会議所などが協力し市内の店頭でPRするほか、「相馬ブランド」を市内外問わず広めていくよう働きかけます。

### 【認証を受けた商品】

▽相馬サブレ▽松川浦▽元気だそうまんじゅう（船橋屋製菓）

▽松川の貝もなか▽相馬もちパイ（中村松川堂）



## 飯豊小に大型スクリーンを寄贈

### 草野建設

草野清貴草野建設社長は7月1日、市役所を訪れ、永峯秀桐飯豊小学校校長へ大型スクリーン機材一式の目録を手渡ししました。

草野建設が法人化70年と飯豊地区移転10年の節目にあたり、七十七銀行の「77社会貢献私募債（寄付型）」を発行し、寄贈を行ったもの。

目録を受け取った永峯校長と同席した堀川利夫教育長が感謝の言葉を述べました。



## 地域の防災に貢献

### 県消防協会定例表彰報告

県消防協会定例表彰報告は6月24日、市役所で行われ、市消防団の団長らが立谷市長に報告しました。

訪れたのは、山田行雄消防団長と竿頭綬を受章した島田光司第5分団分団長、佐藤淳第9分団分団長の3人。

報告を受けた立谷市長は、その功績をたたえ、消防団の日ごろの活動へねぎらいの言葉をかけました。

# 災害を知り、備える 中村二中防災教室

中村第二中学校の防災教室は6月27日、同中学校で行われ、1学年の生徒約60人が参加しました。

防災教室は、災害が起きた際に自分の身を守った上で、周囲の人を助ける力を身に付けることを目的に開催。

午前の時間は主に災害への理解を深める授業が行われ、はじめに東日本大震災の状況や市の対応などの講話を受けました。

その後のグループワークでは今後災害が起きたときに、身を守るためにすべきことを話し合うとともに、非常時でも自分の考えを短い時間で周囲に伝えなければならぬことなどを学びました。

午後の時間は、午前の授業で学んだことをそれぞれのグループで新聞としてまとめ発表を行うなど、生徒らは1日を通して防災への理解を深めました。



## 自分の言葉で力強く「少年の主張」相馬大会



「少年の主張」相馬大会は7月3日、市民会館大ホールで開かれ、市内4中学校の各学年の代表生徒12人が自らの意見を発表しました。

中学生が日常生活で感じていることや考えていること、さまざまな経験を通して感銘を受けたことなどを自分自身の言葉でまとめて発表することで、多くの大人に中学生への理解や関心を深めてもらうことをねらいとし、今年で41回目。

将来の夢や日常のマナー、部活動などをテーマに、発表者は力強く意見を述べました。

最優秀賞の齋藤康洋さん（向陽中3年）、優秀賞の佐藤菜々香さん（中一中2年）、今野未空さん（中二中3年）の3人は、9月27日に本宮市で開催される県大会出場候補者として推薦されました。

## 地域で世代間交流

### 西部こども公民館 3B体操



地域の高齢者と子どもたちの交流を図る3B体操は6月24日、西部子ども公民館で開催され、約40人が参加しました。

日ごろから各地区公民館で3B体操の講師として活動している門馬元子さんと新妻美紀子さんが講師として参加し、地域の高齢者や子どもたちに踊り方を教えながら3B体操が行われました。

参加者は、3B体操特有の道具を使いながら音楽に合わせて楽しく体を動かし、世代を越えて交流を深めました。

### 東部子ども公民館 フェスティバル初夏

東部子ども公民館フェスティバル初夏は6月22日、当子ども公民館で開催され、地域の子どもたちや親子連れでにぎわいました。

イベントは、地域の子どもたちの触れ合いや高齢者との世代間交流を目的に、1年を通して数回行われています。

会場は、人気アニメを題材とした催し物や、将棋やオセロなどの昔遊びが行われ、子どもたちは笑顔を見せながら楽しく催し物に参加し、また、昔遊びを通じた世代間交流を体験しました。



## 水難事故に備えて

## ライフセーバー講習会

桜丘小学校のライフセーバー講習会は7月8日、市民プールで開催され、全校児童が参加しました。

講習会は、万一の水難事故発生時に、慌てず周りの人と協力しながら対応できることを目的に体験学習として実施され、今年で8回目。

講師は、東日本大震災以降、被災地の復興支援に取り組んでいる「チームSOS」の代表豊田勝義氏ら10人のライフセーバーです。

当日は、1・2年生、3・4年生、5・6年生のそれぞれ



れ合同の授業として開催され、学年に応じた講習が行われました。

はじめに参加した1・2年生は、プールサイドで準備運動を行うと、ライフセーバーによる水難事故における救助方法の実演などを見学し、プールの中では、水への恐怖心を無くし慣れることを目的に、楽しく水をかけ合い、救助用の道具を使ってライフセーバーらと触れ合いました。参加した児童は、楽しみながら万が一の水難事故への対応を学びました。

ゴールを狙い熱戦  
バスケットボール  
ミニゲーム大会

第5回相馬バスケットボールミニゲーム（オールコート3人制）大会は7月6日、スポーツアリーナそらまで開かれ、選手たちは勝利を目指し熱戦を繰り広げました。

市教育委員会の主催。

大会は小学校低学年からシニアまでの男女で行われ、29チームが参加し、それぞれの部門で優勝を目指しました。

試合では、お互いのゴールを狙い目まぐるしく攻防が入れ替わり、選手たちはパスを回し鮮やかなゴールを決めていました。



## 相馬野馬追継承へ寄付

## アルプスアルパイン株式会社

アルプスアルパイン株式会社の米谷信彦副社長執行役員兼アルパインカンパニー長代表取締役は6月24日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。

同社は、50年間継続して相馬野馬追に参加し、今年も寄付という形で相馬野馬追を支援。

寄付金を受け取った立谷市長は感謝の言葉を述べました。

子どもたちのスポーツ活動を支援  
相馬ライオンズクラブ

ライオンズクラブ国際協会の針ヶ谷克之さんと相馬ライオンズクラブの横田正寛会長は6月25日、市役所を訪れ、堀川利夫教育長へ寄付金を手渡しました。

寄付金は、ライオンズクラブ国際協会がチャリティゴルフ大会を開催し、その際に集まった浄財。

受け取った堀川教育長は、感謝の気持ちを述べました。寄付金は、本市のスポーツ活動の支援に活用します。

## 夢を持ってチャレンジ スポーツ笑顔の教室



スポーツ笑顔の教室は6月18日、日立木小学校の5年生16人を対象に開催されました。訪れた夢先生は、Fリーグで活躍した元フットサル選手の富金原徹先生。参加した児童らは、体育館で夢先生と一緒に体を動かす「ゲームの時間」でチームとして成功するにはどうしたら良いかなどを相談し協力しながら、少し変わったたるまさんがころんだなどで体を動か

しました。教室で夢先生の体験談をもとに夢を持つことの素晴らしさを伝える「夢トークの時間」では、夢先生が子どものころにJリーグに憧れてプロのサッカー選手を夢見ながら練習してきたことや、どんなに練習しても結果が出ないときは少しでも成長している自分を信じてチャレンジする気持ちを大切にできたことなどを児童らに伝えました。

## 相馬の魅力をPR 「相馬ブランド」認定証交付式

「相馬ブランド」認定制度の認定証交付式は6月26日、千客万来館で開かれ、船橋屋製菓株式会社と有限会社中村松川堂が認定を受けました。

同制度は、市内の優れた素材や技術を活かし、土産などに適した魅力ある加工食品を審査の上、「相馬ブランド」として認定する制度。

今回認定を受けた商品は、船橋屋製菓と中村松川堂の菓子5点。

認定商品は、市や市観光協会、商工会議所などが協力し市内の店頭でPRするほか、「相馬ブランド」を市内外問わず広めていくよう働きかけます。

### 【認定を受けた商品】

▽相馬サブレ▽松川浦▽元気だそうまんじゅう（船橋屋製菓）

▽松川の貝もなか▽相馬もちパイ（中村松川堂）



## 飯豊小に大型スクリーンを寄贈

### 草野建設

草野清貴草野建設社長は7月1日、市役所を訪れ、永峯秀桐飯豊小学校校長へ大型スクリーン機材一式の目録を手渡ししました。

草野建設が法人化70年と飯豊地区移転10年の節目にあたり、七十七銀行の「77社会貢献募債（寄付型）」を発行し、寄贈を行ったもの。

目録を受け取った永峯校長と出席した堀川利夫教育長が感謝の言葉を述べました。



## 地域の防災に貢献

### 県消防協会定例表彰報告

県消防協会定例表彰報告は6月24日、市役所で行われ、市消防団の団長らが立谷市長に報告しました。

訪れたのは、山田行雄消防団長と竿頭綬を受章した島田光司第5分団分団長、佐藤淳第9分団分団長の3人。

報告を受けた立谷市長は、その功績をたたえ、消防団の日ごろの活動へねぎらいの言葉をかけました。